





 [チャットボットで問い合わせる](#)

当社製品の副作用・不具合に関わると思われる事項につきましては、必ずお電話(0120-360-605)にてお問い合わせいただきますようお願いいたします。

## トルツ®（イキセキズマブ（遺伝子組換え））

製品情報

患者向け資料

製品Q&A

お知らせ

疾患情報

ヒト化抗ヒト IL-17Aモノクローナル抗体製剤

生物由来製品・創薬・処方箋医薬品\*

トルツ® 皮下注 80mg オートインジェクター

皮下注 80mg シリンジ

イキセキズマブ(遺伝子組換え)注射液

\*注意—医師等の処方箋により使用すること

【薬価基準収載】

トルツは、炎症性サイトカインであるヒトインターロイキン-17A（IL-17A）に結合する免疫グロブリンGサブクラス4モノクローナル抗体です。既存治療で効果不十分な尋常性乾癬、関節症性乾癬、膿疱性乾癬、乾癬性紅皮症、また、強直性脊椎炎、X線基準を満たさない体軸性脊椎関節炎への効能又は効果で承認されています。

## 製品情報

基本情報：

- 電子化された添付文書
- インタビューフォーム
- 総合製品情報概要
- 製品コード/製品価額一覧

RMP/適正使用資料：

- 医薬品リスク管理計画書(RMP)
- 適正使用ガイド
- 患者向医薬品ガイド

ツール：

- 資料ネット発注
- 使用期限検索



関連情報：


- 取扱説明書
- 医薬品の封に関する情報(ホットメルト)
- くすりのしおり

## 適正使用情報 (医療関係者向け)

 [特定使用成績調査（乾癬） 中間解析結果報告（2021年12月）](#)

## 患者さん向け資料


こちらには、トルツの代表的な患者さん向け資料を掲載しております。他の患者さん資料含め、閲覧もしくは発注されたい場合は、[資料ネット発注サービス](#)にアクセスいただき、ご利用ください。アカウント登録不要で簡単にウェブより発注していただけます。

 [トルツ（イキセキズマブ）乾癬性関節炎治療をはじめられる患者さんへ](#)

 [トルツ（イキセキズマブ）乾癬治療をはじめられる患者さんへ](#)

 [トルツ（イキセキズマブ）使い方クイックガイド\\_オートインジェクター](#)

 [トルツ（イキセキズマブ）使い方クイックガイド\\_シリンジ](#)

 [トルツ（イキセキズマブ）強直性脊椎炎 X線基準を満たさない体軸性脊椎関節炎治療をはじめられる患者さんへ](#)

## 製品Q&A

副作用	
用法・用量	
その他安全性情報	
特殊患者への投与	
臨床試験	
薬効薬理	
製剤	
注入器	

## お知らせ

[すべてを閲覧 →](#)

添付文書改訂

2022年09月 | [トルツ（イキセキズマブ（遺伝子組換え））添付文書改訂のお知らせ](#)

2021年06月 | [トルツ（イキセキズマブ）添付文書改訂のお知らせ](#)

2020年09月 | [トルツ（イキセキズマブ）添付文書改訂のお知らせ](#)

## お役立ち情報：



[乾癬性関節炎 疾患情報](#)

乾癬性関節炎に関連する疾患のトピックや自己学習いただくためのツールなどを国内の医療関係者向けにまとめて掲載しております。



[OnPALETTE® 乾癬性関節炎ハンズオン教育プログラム](#)

OnPALETTE®（オンパレット）は、日本乾癬学会と日本脊椎関節炎学会、日本イーライリリー株式会社が共同で作成した両学会認定の乾癬性関節炎（PsA）教育プログラムです。皮膚科医によるPsAの早期発見と皮膚科医とリウマチ科医/整形外科医の連携促進を目的としており、実践的な知識と技術の習得にフォーカスした情報を提供しております。

## 製品情報詳細

※ 詳細は、電子化された添付文書を参照してください。

販売名	トルツ皮下注80mgオートインジェクター／トルツ皮下注80mgシリンジ（販売英語表記：Taltz® Subcutaneous Injection Autoinjectors／Taltz® Subcutaneous Injection Syringes）
一般名	イキセキズマブ（遺伝子組換え）【一般名英語表記：Ixekizumab（Genetical Recombination）】
薬効分類名	ヒト化抗ヒトIL-17Aモノクローナル抗体製剤
規制区分	生物由来製品 創薬 処方箋医薬品注1) 注1) 注意—医師等の処方箋により使用すること
警告	<b>1. 警告</b> 1.1 本剤は結核等の感染症を含む緊急時に十分に対応できる医療施設において、本剤についての十分な知識と適応疾患の治療に十分な知識・経験をもつ医師のもとで、本剤による治療の有益性が危険性を上回ると判断される症例のみに使用すること。本剤は感染症のリスクを増大させる可能性があり、また結核の既往歴を有する患者では結核を活動化させる可能性がある。また、本剤との関連性は明らかではないが、悪性腫瘍の発現が報告されている。治療開始に先立ち、本剤が疾病を完治させる薬剤でないことを含め、本剤の有効性及び危険性を患者に十分説明し、患者が理解したことを確認した上で治療を開始すること。【2.2 参照】，【8.1 参照】，【8.2 参照】，【8.5 参照】，【9.1.2 参照】，【15.1.2 参照】 1.2 重篤な感染症 ウイルス、細菌及び真菌等による重篤な感染症が報告されているため、十分な観察を行うなど感染症の発症に注意し、本剤投与後に感染症の徴候又は症状があらわれた場合には、速やかに担当医に連絡するよう患者を指導すること。【2.1 参照】，【9.1.1 参照】，【11.1.1 参照】 1.3 本剤の治療を開始する前に、適応疾患の既存治療の適用を十分に勘案すること。【5.1 参照】，【5.2 参照】，【5.3 参照】
禁忌	<b>2. 禁忌（次の患者には投与しないこと）</b> 2.1 重篤な感染症の患者【症状を悪化させるおそれがある。】【1.2 参照】，【9.1.1 参照】，【11.1.1 参照】 2.2 活動性結核の患者【症状を悪化させるおそれがある。】【1.1 参照】，【8.2 参照】，【9.1.2 参照】 2.3 本剤の成分に対し過敏症の既往歴を有する患者
効能又は効果	既存治療で効果不十分な下記疾患 ○尋常性乾癬、関節症性乾癬、膿疱性乾癬、乾癬性紅皮症 ○強直性脊椎炎、X線基準を満たさない体軸性脊椎関節炎
用法及び用量	〈尋常性乾癬、関節症性乾癬、膿疱性乾癬、乾癬性紅皮症〉 通常、成人にはイキセキズマブ（遺伝子組換え）として初回に160mgを皮下投与し、2週後から12週後までは1回80mgを2週間隔で皮下投与し、以降は1回80mgを4週間隔で皮下投与する。 なお、12週時点で効果不十分な場合には、1回80mgを2週間隔で皮下投与できる。 〈強直性脊椎炎、X線基準を満たさない体軸性脊椎関節炎〉 通常、成人にはイキセキズマブ（遺伝子組換え）として1回80mgを4週間隔で皮下投与する。
薬価基準収載の有無	有
製造販売業者名	日本イーライリリー株式会社 神戸市中央区磯上通5丁目1番28号
承認条件	医薬品リスク管理計画を策定の上、適切に実施すること。
作成年月	* * 2022年9月改訂(第5版) * 2022年1月改訂(第4版)

お探しの情報が見つからない場合は、[こちら](#)よりお問い合わせください。

[研究者主導研究\(IIR\)](#) [ウェブサイトご利用上の注意](#) [個人情報の保護について](#)

[アクセシビリティに関して](#) [販売情報提供活動に関するご意見](#)

18歳未満の方向けに制作されたサイトではございません  
VW-MED-134539 このサイトは日本国内の医療従事者の方のみを対象としています。  
Copyright © 2023 Eli Lilly Japan K.K. All rights reserved.













疼痛・神経

国内の医療関係者の方々に対して、疾患領域における医科学情報、日常診療に役立つ情報を掲載しています。

片頭痛

日本頭痛学会認定

片頭痛疾患教育プログラム

頭痛診療に活かす！

すぐに使える行動経済学

頭痛患者さんとのコミュニケーションがどうもうまくいかない。そんなお悩みはありませんか？日常診療でよく経験する4ケースを取り上げ、行動経済学の視点を取り入れた効果的な対応の仕方をコミック動画でご紹介します

教育プログラム

日本頭痛学会認定

片頭痛疾患教育プログラム

働く人に関わる医療者が知っておきたい頭痛へのアプローチ

“頭痛で生活や仕事に支障をきたしているのになんとか自分で対処している”潜在患者さんを治療につなげるために、医療者が知っておくべきことは？患者さんへの説明にも活用できる動画を含めた全2シリーズです。

教育プログラム

日本頭痛学会認定

片頭痛疾患教育プログラム

頭痛診療のエキスパートを目指して～基礎から臨床まで

片頭痛に関する基礎的な知識から標準治療や診療のポイント、患者教育や治療継続の方法まで、全8シリーズで解説しています。すべてを視聴した後は、自信をもって頭痛診療に取り組むことができるかもしれません。

教育プログラム

日本頭痛学会認定

片頭痛疾患教育プログラム

『頭痛の診療ガイドライン2021』～改訂概要と二次性頭痛

『頭痛の診療ガイドライン2021』の改訂ポイントや新設された「二次性頭痛」の解説など、全4シリーズで構成されています。アニメーションによるCGRP関連薬剤の作用機序解説やエビデンス紹介もご覧ください。

教育プログラム

日本頭痛学会/日本イーライリリー株式会社

頭痛疾患教育動画

あなたに知ってほしい頭痛に適切に対処するための基礎知識

監修：五十嵐 久佳 先生  
脚本：タニシ ユウ

[あなたに知ってほしい頭痛に適切に対処するための基礎知識](#)

片頭痛とともにある私の日常

お探しの情報が見つからない場合は、[こちら](#)よりお問い合わせください。